

平成23年度教育委員会事務点検評価(平成22年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	3
事務事業の名称	大学等との連携事業	担当部課	生涯学習部 社会教育課
		電話番号	04 - 2953 - 1111 内線 5673
実施期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H22~24)事業名	個別計画等の名称 生涯学習基本計画
	1節 生涯学習の振興		
	1項 生涯学習の推進		
	2目 生涯学習の機会や場の拡充		
実施根拠	社会教育法		
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	生涯学習に対する市民の関心の高まりに呼応して、いつでも、どこでも、だれもが学ぶことのできる環境を整備するため、市内の大学等と連携して、学習機会と場の拡充を図ることとしたものである。		

2 事務事業の目的・内容

目的	市内の大学等との連携を図るなかで生涯学習の機会や場を拡充する。		
対象	大学、短期大学、高校		
活動内容	東京家政大学とは連絡協議会を設置し、連携を図るとともに、他の大学や高校も含めて、公開講座の情報を市ホームページに掲載し、また、ポスターやチラシについても公民館・図書館・集会所等に置いて周知を図った。また、狭山シニア・コミュニティ・カレッジの授業の一部を市内外の大学に委託した。		
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	連携方策等について検討を行った。	
	内容の見直し		
環境配慮	参加者に対して、近距離の移動の際は自動車の使用を控えるように呼びかけている。		
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()		

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値の根拠・考え方
(実施動向指標)	連携学校法人数	目標値	人	4	4	4	4	市内中学校法人数と市外の契約学校法人数
		実績値		3	3	2		
		達成率		75.0%	75.0%	50.0%		
		目標値						
		実績値						
		達成率						
(成果指標)		目標値	人					
		実績値						
		達成率						
		目標値						
		実績値						
		達成率						

4 事業費

		区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
経費	直接費	予算額	千円	3,287	1,445	1,439	1,010	
		決算額	千円	2,788	1,445	1,010		
		財源内訳	国県支出金	千円				
			その他特定財源	千円				
	一般財源		千円	2,788	1,445	1,010		
	人件費	従事職員数	人	0.27	0.22	0.22		
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	2,477	2,023	1,978		
		事業費計(直接費決算額+人件費)	千円	5,265	3,468	2,988		
効率性指標	指標名	連携大学数	校	3	3	2	※1単位当たりの経費	
	単位コスト	連携大学あたりの経費	千円	1,755	1,156	1,494		

5 事務事業の評価

◆第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4 前年度	大学等と連携し、大学等有する学習資源の活用を図ることは、生涯学習の機会や場の拡充を通じて、生涯学習の推進に大きく寄与するものである。
	有効性	4 前年度	市内外3つの大学とは、公開講座の市民への周知、狭山シニア・コミュニティ・カレッジの一部委託等を通じて、具体的な連携を図ったが、連携のより一層の推進を図っていく必要がある。
	効率性	3 前年度	大学等の公開講座については、ポスター掲示やホームページへの掲載に留まっている。大学等にも生涯学習の推進に一定の役割を果たすことが求められており、より一層の連携を図っていく必要がある。
<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 既存の連携について拡充を図るとともに、新たな連携方策の確立を図り、生涯学習の機会や場の充実に努めていく。		

6 その他(学識経験者の意見等)

大学との連携事業が、講座の委託という部分に限定されているが、新たな連携内容・連携方法を検討すべき時期に来ているのではないかと。市内に大学が複数校存在するという大きな資源であり、協力・活用を図るべきであろう。大学側にもメリットのある事業であるにもかかわらず、数値目標の達成率が50%にとどまるのはなぜか。連携の在り方について、当該大学との十分な検討を進める必要がある。